

# CTC杯 東京スポーツ杯争奪戦



10/11(月) 12(火) 13(水) 川崎スポーツ

## レース展望

10月11日から開催される川崎競輪はF1ナイター。S級上位の選手も多く参加しており、ハイレベルな戦いが予想される。

S級戦は南関東勢が強力。当地で好走する岩本俊介(千葉94期)と着実にレベルアップしている大石剣士(静岡109期)の機動型を中心に、地元戦に強い小原太樹(神奈川95期)や、マーク巧者の松坂英司(神奈川82期)らが揃い充実した布陣。互角の戦力を誇る関東ラインは、期待の成長株森田優弥(埼玉113期)が軸となりそう。積極的な落澤鴻太郎(群馬111期)も貴重な戦力だし、輪界のレジェンド神山

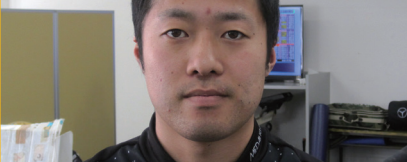
雄一郎(栃木61期)も参戦して関東勢の支柱となりそう。北日本勢はS1が佐藤和也(青森95期)が一人だけ。戦力が手薄で苦戦を強いられる。遠征勢は中近地区からあっせんされている。川口聖二(岐阜103期)や高橋和也(愛知91期)らが機動力発揮できれば優勝戦線に加わることも十分だが、南関や関東と比べると劣勢か。

A級戦も南関東ラインに分がありそう。久しぶりのA級戦となる地元の副島和人(神奈川105期)はホームバンクで結果も求められる立場。地元戦に強い加藤健一(神奈川107期)や前

S級の遠藤勝弥(静岡109期)らの機動型を目標に優勝を狙いたいところ。優勝候補の一人として注目されるのは磯島成介(青森115期)で、パワフルな自力勝負で北日本ラインをけん引する。関東は土田栄二(茨城115期)らの若い力に期待がかかるが、負傷欠場中の実力者が復帰できているかが鍵。遠征勢は少しずつ向上している水谷将司(愛知105期)や積極先行の鮫島康治(大阪111期)らが実力を発揮できれば浮上してくる。

実力者揃う南関東勢がリード

S級 主力選手



小原太樹 神奈川 95期

競輪では地元戦で活躍する選手を「地元〇割増し」などと表現することがあるが、それが見事に当てはまるのがこの小原太樹だ。今年の6月当地のF1戦では決勝3着で3日間確定板に乗り、ファンの車券に貢献した。小原が唯一制覇したG3も2018年の地元川崎記念。開催直前に入った緊急参戦でチャンスをモノにした。G1決勝にも乗っているし、まさに「何か持ってる男」だ。基本的にはもう追い込み選手だが、まだまだラインができれば自力を打てる脚力はあるし、どんなレースにも対応できる。今年はまだ優勝も無く目立った活躍も少ないが、この地元戦は期待できる。

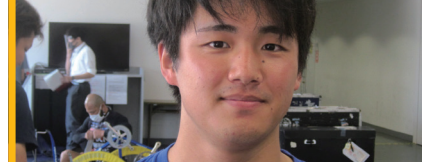
S級 主力選手



森田優弥 埼玉 113期

ハイレベルな113期の一員で、勢いある埼玉勢の中心としてグレードレースでも存在感が増してきている森田。早い段階から頭角を現して2年連続でヤンググランプリに出演。優勝は叶わなかったが、2回とも確定板に載るなど、大きな舞台でも物怖じしないメンタルの強さもある。魅力は威力抜群のカマシやまくりだが、まだまだ不安定さはある。近況の走りを見ると、積極的に仕掛けて果敢にレースを作りに行っている印象。まだまだ伸びしろは十分で、将来有望な若手の一人。9月の弥彦F1では初日、2日目は先行。決勝はまくりでVと、好調を博している。関東ラインにとっては頼もしい存在となりそう。

S級 主力選手



大石剣士 静岡 109期

強力な地脚を武器にレベルアップしてきた大石剣士。近年盛り上がりを見せる南関東勢のなかで、いまや貴重な戦力として注目される機動型だ。以前は先行できずに大敗のケースも少なくなかったが、課題のダッシュ力に磨きがかかりトップスピードも上昇してきた印象。それを証明するかの一戦となったのは9月の向日町記念準決勝。SS班の佐藤慎太郎(福島78期)の目標として指名された大石は、別線がもがき合う展開の良さもあつたが見事なまくりを決め佐藤を振り切る。トップクラスの戦いで勝ち切れる剛脚ぶりを発揮した。F1戦では結果も求められるが、変わらぬ先行基本の走りで魅せてくれるはず。



A級 注目選手 磯島成介 青森 115期

兄は康祐(青森105期)で、叔父は坂本勉(57期引退)と、幼い頃から競輪を身近にしてきた磯島。デビュー以来高い素質の片鱗を随所で見せつけて勝ち星を量産している。特に今年に入り以前のようなムラが減り、安定した成績を残している。昨年に取材した際に先行とまくりと、どちらが得意かと質問した際には「まくり」と即答していたが、近況は逃げてよし、まкруって良しの安定感が見られるようになって死角は少ない。S昇級は遠くないだろう。更なる進化を目指し今シリーズも北日本の中心としてフル回転だ。

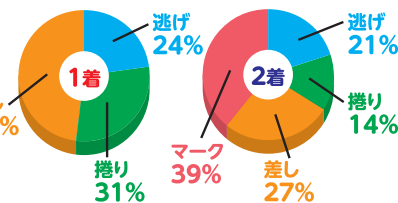


A級 注目選手 鮫島康治 大阪 111期

ボクシングで東洋太平洋ライト級2位まで昇り詰めた鮫島康治が、競輪選手として転身、デビュー4年が過ぎた。今シリーズの遠征勢はやや戦力が手薄に感じるが、この鮫島の先行力には期待したい。今期は2班の格付けで予選スタートとなるが、決勝進出して優勝争いに加わるだけのパワーは十分にある。今年6月に当地に参加しているが、初日、2日目と主導権を奪って決勝まで勝ち進み3着と好走した。鮫島の魅力は長い距離を苦にしない強力な地脚。戦法的にも成績にムラは出がちなが、主導権を取ってかかり切った時の先行は数字以上のパンチ力がある徹底先行タイプだ。

### 川崎競輪場バンクガイド

1センターの客席が取り壊され2角からバックへかけて風が吹き込むようになった為、バック追い風の傾向が強くなった。直線が長く、最終4コーナーから直線にかけてイエローライン付近が強襲コースを外を踏める選手が穴を演出する。



俺にまかせろ! 川崎仮面の

開催中 毎日 OA!

YouTube ニコニコ放送 NICO NICO LIVE

競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル